

## 短 報

## 聖路加国際大学「安心キャンパスプロジェクト」の活動報告

中田 諭<sup>1)</sup> 芦田 直樹<sup>2)</sup> 五十嵐ゆかり<sup>1)</sup> 江藤 祥恵<sup>1)</sup> 大久保暢子<sup>1)</sup> 奥 裕美<sup>1)</sup>  
 小山田恭子<sup>1)</sup> 賀数 勝太<sup>1)</sup> 川上 千春<sup>1)</sup> 小林 京子<sup>1)</sup> 高橋 恵子<sup>1)</sup> 高橋奈津子<sup>1)</sup>  
 樋勝 彩子<sup>1)</sup> 吉田 由紀<sup>3)</sup>

## Activity Report of the “Safe Campus Project” at St. Luke’s International University

Satoshi NAKATA<sup>1)</sup> Naoki ASHIDA<sup>2)</sup> Yukari IGARASHI<sup>1)</sup> Sachie ETO<sup>1)</sup> Nobuko OKUBO<sup>1)</sup>  
 Hiromi OKU<sup>1)</sup> Kyoko OYAMADA<sup>1)</sup> Shota KAKAZU<sup>1)</sup> Chiharu KAWAKAMI<sup>1)</sup>  
 Kyoko KOBAYASHI<sup>1)</sup> Keiko TAKAHASHI<sup>1)</sup> Natsuko TAKAHASHI<sup>1)</sup> Ayako HIKATSU<sup>1)</sup>  
 Yuki YOSHIDA<sup>3)</sup>

## 〔Abstract〕

The impact of COVID-19, which has been ongoing since 2020, is hindering students from spending their campus life as they had envisioned. Furthermore, it is engendering anxiety about their studies, relationships with friends, financial conditions supporting their school life, and future career choices. Against this background, in March 2021, a group of volunteer faculty members launched the “Safe Campus Project,” which consists of faculty members, administrative staff, and public relations staff to create an environment that supports learning and enjoyable campus life for students. The main activities of the project include adjusting the campus environment to prevent the spread of infectious diseases, promoting “silent lunch” during lunchtime, raising awareness through posters, and sending weekly e-mails to students, including about the state of emergency. These activities are being conducted in collaboration with students, faculty members, and related departments, incorporating opinions and ideas from students. In the future, while evaluating the activities of this project, we aspire to improve the environment that supports student life in cooperation with students and related departments to render the campus more conducive to learning.

〔Key words〕 COVID-19, university school life, learning environment

## 〔要 旨〕

2020年から継続するコロナ禍により、学生は思い描いていたようなキャンパスライフを送ることが困難となり、学習や友人との関係、学生生活を支える経済状況、これからのキャリア選択などに不安を抱えている。このような状況を背景に2021年3月に有志の教職員で「安心キャンパスプロジェクト」を発足させた。このプロジェクトは、学生のよき学びと楽しく安心できるキャンパスライフを支援する環境を整備することを目的とし、教員、総務、広報部門の職員で構成している。主な活動内容は、感染予防のための学内環境の調整や昼食時の「サイレントランチ」の普及、掲示物などによる啓発のほか、緊急事態宣言中も含めた毎週の学生へメールによるメッセージ配信である。これらの活動は、学生からの意見やアイデアを取り入れ、教職員だけではなく、学生と協働し、関係部門と連携をとりながら行っている。今後は、プロ

1) 聖路加国際大学 大学院看護学研究科・St. Luke’s International University, Graduate School of Nursing Science  
 2) 聖路加国際大学 大学事務部・St. Luke’s International University, Academic and Student Administration  
 3) 聖路加国際大学 広報課・St. Luke’s International University, Public Relations Division

プロジェクト活動の評価を行うとともに、引き続き学生や関係部門と連携・協働し、大学が学生生活を支えるよき学びの場となるよう支援し、環境を整える活動を継続したい。

〔キーワード〕 コロナ禍、学生生活、学習環境

## I. はじめに

新型コロナウイルス感染症は、密閉・密集・密接（三密）の空間での感染が頻繁に確認された<sup>1)</sup>ことから、人々の生活を大きく変化させた。全国の大学は2020年4月の緊急事態宣言の発令に伴い、遠隔授業やオンライン授業の活用が促され<sup>2)</sup>、学生は個々の自宅での学習を余儀なくされる状況が継続している。2021年3月に全国の大学生を対象にした調査によると、場所を選ばず自分のペースで学習できるというオンライン授業の利点を活かした効果が示されてきたが、将来のキャリア（73.3%）、経済状況（40.7%）、授業（37.9%）、学内の友人（29.1%）に関する悩みがある<sup>1)</sup>という結果が示されている<sup>3)</sup>。また、2021年本学の教職員ミーティングにおいて学生生活の実態調査の報告が行われ、遠隔授業による利点が評価される一方、就職、相談窓口、交流の機会の減少に関する悩みが報告された。このような状況を背景に2021年3月に「みんなが安心して過ごせるキャンパス環境を考えるプロジェクト（以下安心キャンパスプロジェクトとする）」が発足した。本稿では安心キャンパスプロジェクト発足から現在（2021年10月）までの経緯ならびに活動と課題について報告する。

## II. 発足の経緯と運営

### 1. 発足の経緯

2021年3月23日大学教職員の定期ミーティングにおいて、コロナ禍の学生生活実態調査の報告が行われた。その中で、学習に対する支援や、学生生活にまつわる相談体制の整備等、必要な課題があることが報告された。また、学生部長から学生が期待していたような学生生活が過ごせず不自由で不安な生活をしていること、感染状況が落ち着かない中で新学期を迎えるにあたり、感染予防対策を行いながら、可能な限り学生らしい日々を過ごすことができるよう、大学として環境の整備をすることへの協力が要請された。安心キャンパスプロジェクトは、これに呼応した数名の教員が、感染予防対策と不安やストレスの緩和にむけた取り組みを検討し、まずは目前に迫る新学期の感染予防対策検討案を作成したことに端を発する。作成した感染予防対策案は翌日教務部長に提出し、承認を得たうえで3月25日にすべての教職員に配信した。その際、プロジェクトの主旨に賛同し協働する教

職員を募り、3月29日にキックオフミーティングを行った。学生部長、教務部長を含む9名の教員が集い、プロジェクトが発足した。その後、賛同する教職員が徐々に増加し、2021年10月15日時点で総務、広報部門の職員を含む14名で活動を継続している。

### 2. プロジェクトの運営

#### 1) プロジェクトの目標と方針

キックオフミーティングにおいて安心キャンパスプロジェクトの目的を「学生がよき学びを得られる、楽しく安心したキャンパスライフ（学習やその他の学生生活）を送ることができる」とした。また、プロジェクトのリーダーは筆頭著者が担い、1. 楽しく無理なくストレスなく実行できる方法を検討する（ナッジ nudge を活用）、2. あらゆるアイデアを検討し有効と判断できれば実行する、3. 教職員だけではなく学生や関係者など関連する皆で考える、という3つの運営方針を確認した。また、プロジェクトを担う教職員にとっても、大きな負担とならず、無理なく続けていくことができるようにしたいという気持ちも確認した。

#### 2) オンラインミーティング

プロジェクトのミーティングはオンラインで実施し、長期休暇の期間を除いて毎週金曜日の昼休みにミーティングを開催している。ミーティングでは、感染や学生を取り巻く状況の共有、学生からの意見、検討事項や実施・進捗状況の確認、学生に伝えるべきメッセージなどについて定型化して開催を行っている。記録は全て教職員共有のフォルダに保管し、ミーティングに参加出来なかった教職員も共有しやすいようにして運用している。

## III. 活動の実際

安心キャンパスプロジェクトの発足当初、新学期に学生が対面での授業が開始となるにあたり、通学することの不安に加えて久しぶりの友人との会話やマスクを外す機会のある昼食や学生ラウンジでの行動に感染リスクが高いことが予測された。感染対策の検討は、実際の学生の行動、Web上の目安箱に寄せられた学生の意見や提案に対応しながら、常に学生が少しでも友人との会話や交流の機会が確保されるような方法を検討した。以下にこれまで行った活動について紹介する。

## 1. 昼食場所の調整（モニタリング・感染対策の関係部署との共有・相談）

授業中はそれぞれ教室に分かれて授業を受けていた学生が、昼食をとるために本館2階ラウンジ、CCA3階ラウンジに集中することが予想された。特に本館2階ラウンジは学生食堂を兼ねていることから、昼食時間は通常でも座席数が不足することがあった。感染予防対策で座席数が削減されていたことから、学生たちに自分たちがどこにいけば密を避けて昼食を取ることができるのかを事前に伝えられるよう調整した。

具体的には毎週金曜日のプロジェクトミーティングにおいて、翌週の全学年分の時間割を確認し、学年ごと（履修者数が多い場合は学年を半分に分けて）に、昼食時間を過ごす場所を決め、一週間分を一覧表にしてメールで送信した。なお、プロジェクト発足当初は印刷した一覧表を教室や廊下に掲示していたが、貼る・剥がす作業に手間がかかること、メールでの配信が定着したこと、内容がパターン化し、掲示が無くても学生が自ら移動できるようになってきたことなどから、掲示は6月半ばで終了した。同様に、正面玄関にある大型液晶モニターであるデジタルサイネージを利用し、本プロジェクトに賛同した職員と連携し掲示を行った（図1）。

## 2. サイレントランチ

昼食時は学生が集合することのほか、マスクを外して会話をするリスクが高まる時間である。そこで、2階ラウンジ、CCA3階ラウンジの昼食時間を「サイレントランチタイム」と称し、会話が無くても楽しく昼食がとれるような工夫を行った。工夫の内容には学生からのアイデアを採用した。

### 1) 指文字シート

学部4年生の有志が作成したチラシをラウンジに配布した。挨拶編、なかなか友達に会えない時に使う大事な手話編の2回発行した。声を出して会話をしなくても会話することができ、さらに聴覚障害がある方とのコミュニケーションを考える機会ともなるというアイデアであった。

### 2) BGM

昼食時の本館2階ラウンジが静かすぎる環境は寂しいという学生の意見をうけ、プロジェクト教員が日替わりで、BGMとして学生のリクエストによる音楽を流した。

### 3) トークイベント

音楽だけでなく、教員たちの話が聞きたいというリクエストをうけて、開催した（写真1）。

### 4) ラウンジのポスター、マスクケースの作成とレジャーシート準備

食事をするときに外したマスクを、再装着せずについて話を初めてしまうことを避けるため、イラストが得

意なプロジェクトメンバーがポスターを作成し、ラウンジ内に掲示した（図2）。また、外したマスクの置き場所が必要だとして、紙製のマスクケースを準備し、大学のロゴやプロジェクトからのメッセージを印刷して配布した（写真2）。さらに、本館前の中庭でも昼食を取ることができるように、一人用サイズのレジャーシートを準備した（ただし、シート購入後すぐに、緊急事態宣言が発令され学生が登校しなくなったため、まだ使用していない）。

## 3. オンライン目安箱

上記のようなサイレントタイムの工夫のアイデアを含め、学生のキャンパス運営への積極的な関与を期待し、オンライン上で目安箱を設けた。アイデアだけでなく、「机やコンピューターのキーボードを清潔にする道具が欲しい」、「学食はできるだけあけてほしい」といった要望を含め、これまで合計42回の投書があった。寄せられたアイデアや意見について、プロジェクトで検討し回答を送るとともに、プロジェクトで対応できないことについては学内の担当部署に内容を伝えた。

## 4. みんなの安心キャンパス川柳

コロナ禍の生活を少しでも楽しく、豊かにしたいと考え目安箱と同様オンラインにて川柳を募集した。なお、当初「コロナ川柳」という名称であったが、学生からの目安箱への意見を基に「みんなの安心キャンパス川柳」に変更した。これまで52句が寄せられており、最も多くの句を投稿した学生や、ユニークさが際立つ作品を表彰した。

## 5. 週末メールメッセージ

登校する機会が少ない学生たちに大学の雰囲気等を伝えるメッセージと共に、プロジェクトの活動、目安箱へのアイデアや川柳の募集を行うため、内容を金曜日のプロジェクト会議で相談したうえで、毎週土曜日に学生・教職員に一斉メールを送信している。長期休暇の期間や、緊急事態宣言が解除されていた期間のみ一旦休止したが、2020年度4月3日の1回目からこれまで（2021年10月16日現在）24回送信した。

## 6. 広報活動（ポスター、バーチャル背景、グッズ企画）

サイレントランチで作成したポスター以外に、脱水予防の啓発のためのポスターも作成した（図3）。また、塗り絵バージョンも作成し、色を付けてくれる学生を募集したが応募はなかった。作成したポスターと同柄のオンライン会議システム用のバーチャル背景、教職員・学生に配布した。そのほか感染対策につながる大学オリジナルグッズの作成も検討したが、その必要性等について議



# St. Luke's International University

## 4月12日～16日のお昼ご飯教室

ランチは提示された場所で、おひとりランチ。サイレントランチではマスクをしていますが会話は控えて。同じ部屋で「食べる/話す」を分ける場合は、原則として11:40-12:15を食事時間。部屋の全員がマスクをしてから会話

	4月19日(月)	4月20日(火)	4月21日(水)	4月22日(木)	4月23日(金)
サイレントスペース	本館2階食堂 401, 404 (11:40-12:40)	本館2階食堂, CCA3301(11:40-12:40) 3210(11:40-12:10)	本館2階食堂 (11:40-13:10)	本館2階食堂, CCA3210 (11:40-12:40)	本館2階食堂, CCA3210 (11:40-12:40)
学部1年生	場所: CCA3301, 3302でできるだけお弁当持参で食べる(食堂が混雑している場合は602で食べる) 時間と話す時間をわけてください	場所: 食事をするならCCA3301で学籍番号(偶数学生11:40-12:10)(奇数学生12:10-12:40), もしくは食堂(12:10以降, なるべく12:40以降)	場所: 本館2階食堂 時間: 学籍番号奇数学生(11:40-12:10)・偶数学生(12:10-12:40)	場所: 本館2階食堂 時間: 学籍番号偶数学生(11:40-12:10)・奇数学生(12:10-12:40)	場所: 本館2階食堂 時間: 学籍番号奇数学生(11:40-12:10)・偶数学生(12:10-12:40) 24日(土)は基本はご飯を食べてから来てください。or CCA3302で黙食
学部2年生	場所: 401, 404 午後からの授業なので基本はご飯を食べてから来てください	場所: 601で話す時間と食べる時間を分けてください	場所: 食堂使用は 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降	場所: CCA3210 時間: 学籍番号偶数学生(11:40-12:10)・奇数学生(12:10-12:40)	場所: 本館2階食堂 時間: 学籍番号奇数学生(11:40-12:10)・偶数学生(12:10-12:40) ただし、「女性学」の受講者は402使用
学部3年生	場所: 食堂使用は 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降	午前中授業の人↓ 場所: 食堂使用は 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降	午前中授業の人↓ 場所: 食堂使用は 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降	場所: 食堂使用は 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降	場所: CCA3210 時間: 学籍番号偶数学生(11:40-12:10)・奇数学生(12:10-12:40)
学部4年生	場所: 講義室B 食べる時間と話す時間は分けてください。午後から授業の人は家で済ませててください	2時限目アリス学生はお弁当の人も 場所: 食堂(11:40-12:10), 2時限目3210学生は(3210で11:40-12:10)もしくは食堂(12:10-12:40)	場所: 食堂使用は 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降(2-3限連続授業の人は除く) 午後授業がない人は帰宅して家で食べてください	場所: 食堂使用は 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降(2-3限連続授業の人は除く)	場所: 食堂使用は 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降 午後から授業の人は家で食べて来ててください
学士3年生	場所: 402 食べる時間と話す時間を分けてください	場所: 402 食べる時間と話す時間を分けてください	場所: 402 食べる時間と話す時間を分けてください	場所: 402 食べる時間と話す時間を分けてください	場所: 本館2階食堂 時間: 学籍番号偶数学生(11:40-12:10)・奇数学生(12:10-12:40)
学士4年生	場所: 403 食べる時間と話す時間を分けてください	2時限目アリス学生はお弁当の人も 場所: 食堂(11:40-12:10), 2時限目3210学生は(3210で11:40-12:10)もしくは食堂(12:10-12:40)	場所: 食堂使用は 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降	場所: 食堂使用は 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降	場所: 403 食べる時間と話す時間を分けてください
大学院生	場所: 2号館ラウンジ 時間: お昼休み				
その他の学生	場所: 本館2階食堂, (空き教室) 時間: 11:40まで, もしくは12:40以降				

この予定は混雑状況をみて以降修正の可能性があります。大学院生はCCAの受講する部屋でもOK CCAの3204～3209は会議室として使用しますので昼食の使用はできません。



「いただきます」  
食事を食べる前の挨拶ですね。皆さん、最近、言ってますか？  
食材への感謝「命をいただきます」、食材を調達・調理してくれた方への感謝を込めた言葉ですね。食事を食べるために、マスクをとることが日常になりましたが、その際に手を合わせて心の中で「いただきます」と想うことも忘れずに。

図1 デジタルサイネージの表示(例)





写真1 トークイベント時の様子



写真2 マスクケース

論があり中止した。

#### IV. おわりに

安心キャンパスプロジェクトは、これまで周囲の感染状況や学生の意見や背景に応じた感染予防の発信や提案の活動を行ってきた。メンバーは学生部、教務部に所属する教員や施設設備や広報を担当する職員という構成で、情報の共有や提案を円滑にし、動性の高い活動に繋がっている。また、毎週のミーティングや学生へのメッセージもメンバー持ち回りで運営し、発信するなど活動も定着している。コロナ禍で教職員同士の交流が希薄になりがちな環境下、教職員の領域や部署を越えたメンバー同士の自由闊達な意見交換は、参加するメンバー自身の新たな発見や交流の場にもなっている(写真3)。これまでの活動による感染の抑制や学生生活への影響について十分な評価ができていないという課題はあるが、今後もプロジェクトの特徴を活かし、望ましい学生生活のための支援活動を継続していきたい。

#### 引用文献

- 1) 国立感染症研究所. コロナウイルスとは(2021年9月30日改定版) [Internet]. <https://www.niid.go.jp/>



図2 ラウンジ内のポスター(例)



図3 脱水予防の啓発ポスター



写真3 オンライン会議の様子

[niid/ja/kansennohanashi/9303-coronavirus.html](https://www.niid.go.jp/kansennohanashi/9303-coronavirus.html) [参照 2021-10-15]

- 2) 文部科学省. 令和2年度における大学等の授業の開始等について(令和2年3月24日発布) [Internet]. [https://www.mext.go.jp/content/20200324-mxt\\_kouhou01-000004520\\_4.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200324-mxt_kouhou01-000004520_4.pdf) [参照 2021-10-15]
- 3) 文部科学省. 新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の学生生活に関する調査(令和3年5月25日発表) [Internet]. [https://www.mext.go.jp/content/20210525-mxt\\_kouhou01-000004520\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20210525-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf) [参照 2021-10-15]